

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合政策研究科
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 2011年を目途に、理念・目的を具体化したアドミッションポリシーを策定する。	→アドミッションポリシー策定の有無。	A	A	A		
2. 理念・目標を社会にアピールする方策を策定する。	→学内での検討会、総合政策研究科HPの更新・利用状況、公開シンポジウム開催状況、学外説明会開催状況、受験者数・入学者数	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 <

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	総合政策研究科は、その基盤である総合政策学部と同様に、「自然と人間の共生、人間と人間の共生」を基本理念として、社会の各分野で指導的役割を果たしうる高度専門的職業人を養成するとともに、研究者として十分な専門能力を有する人材の育成を図ることを目的とする。このような理念・目的の実現のため、2011年度に大幅なカリキュラム改訂を実施し、現在、その結果を検証しているところである。今後もモニタリングを続けながら、総合政策研究科にふさわしいカリキュラムの整備に努める予定である。
☆ 目標2	学部のパンフレットやホームページの記載によって、学内・学外に明示している。さらに、各種のシンポジウム等を「関学総政宣言」にそって開催するほか、研究叢書等の刊行を実施して、理念・目的の周知に努めている。とくに、リサーチ・コンソーシアムやリサーチ・フェアにおいて大学院生の研究成果を広く公開したほか、公開シンポジウムや研究成果物等を通して、総合政策の理念の浸透に努めた。さらに学部のホームページ等を活用して、総合政策研究科の理念や研究成果の公開に努めている。
備考	今後も、とくにリサーチ・コンソーシアム等を通じて、産官学民の共同研究体制の構築をめざす。さらに新たな会員の獲得によって、総合政策研究科を中心としたネットワークの確立を図りたい。また、広く社会からの人材を集めるため、社会人を積極的に受け入れるとともに、授業・論文作成等を英語で行う英語コースを充実させ、留学生の受け入れ等によるグローバル化を進める。